

「建交労とうきょう」はいつでもみなさまからの記事や写真を待っています。  
(メール tohonbukenkouro@smile.odn.ne.jp  
ホームページ  
http://www.kenkouro.com/)

# 建交労 の とうきょう

建交労東京都本部機関紙

発行所  
全日本建設交通一般労働組合東京都本部  
〒135-0048  
江東区門前仲町1-20-3  
東京建設自労会館7階  
電話 03(3820)8644(代)  
fax 03(3820)8646  
編集発行人 松田 隆浩  
1部15円(〒60円)



記念写真  
主に東京から参加したみなさん

淡路フェスタ感想文より  
【新中央設計分会 笹原和樹】伊藤千尋先生の記念講演、佐藤隆一委員長の特別講演、いずれも大変勉強になりました。学習の機会がなかなかないため、淡路フェスタに来て良かったと思いました。  
二日目の運動会では、青年対抗や女性対抗など種目別にしても良いかなあと感じましたが、本日に楽しかったし、団結の体感になれた

第四回全国学習交流集会在七月三日、五日まで兵庫県南淡路市で開かれ全国から三八三人が参加しました。



## 建交労結成一〇周年 淡路フェスタ 東京から一八人

に限り、ここでつかみ取ろう  
た多くのものを、皆さんに



子どもに帰って玉入れに熱狂



団結玉ころがしはすごい



飲み込まれそう 迫力満点の渦潮クルージング 東京漆原進撮影



綱引きはおもしろかった



人形浄瑠璃



人形浄瑠璃 恵比寿さま

少しでも伝えるべく努力していきたいと思えます。  
ここに私を送ってくれた組合組織、ひとりひとりの組合員に心から感謝します。自分の自信を強め、自分の独自の闘いに生かしていきたいと思いました。  
鉄道全労争議団 渡部謙三「建交労結成一〇周年淡路フェスタに参加させていただきました。私は東京で常駐オルグに派遣され、二〇年になろうとしています。解決局面に入ったと言われている国鉄闘争、もう一息と思っています。解決した時は北海道に戻る予定です」

北海道に戻ると淡路まで出てくる事はないだろうと思いで参加させていただきました。参加し、様々な職種、職場で働く仲間が、建交労の集いに結集し、雇用と権利を守るたかいた組織拡大に力をあわせている姿にさすがの思いです。  
二泊三日の行程を楽しく過ごさせていただきました。特に私の楽しみにしていた海釣りも、大きな鯛を釣ることも出来良い思い出となりました。国鉄闘争の全面解決のために引き続きがんばります。引き続きご支援をお願いし、感想に代えさせていただきます。(裏面に続く)

名物副委員長 門川さんが先日亡くなった。この欄で釣り旅行記を書いたことに少し批判を述べたことがあった。今でも心に引く掛るものがあり、私自身の文章が、形式的で常識的すぎるかなと情勢はいそがしく変わり前代まれな107年ぶりの「真夏の選挙」になってしまった。新しい時代の幕開けになるか、それとも旧態依然の政治であり続けるのかの国民にとってこそ永い政策の吟味期間(四〇日)がはじまる。ここで各政党の政治的哲学を独断で述べてみれば次のようになる。自民党：大企業が世界の競争で勝たなければ結局はじまらない。法人税を下げ、消費税の増税。民主党：官僚政治打破。予算の配分権を持つ官僚政治を打破すれば国民生活に予算が来ると楽観しすぎる。公明党：「責任政党」生活と未来の責任を言うが、内容不明。共産党：国民の目線で政策提起している。小選挙区制では苦戦だが比例でどのくらい民意をあつめるか、第3の極になるか。社民党：共感できる面もあるが、民主党との連立は「少し違つた」ではない。日本人の選挙観はどうも最近「風に乗るやうい」ものになってきている。これは選挙制度から来ているようなので、「当選できないければ何もならない」という、傾向から、脱却すること。民意の票数(率)によって議員が選出できる。「新たな選挙制度」の確立のために労働組合や革新的諸団体の今日的意義はあるように考える。門川さんはお酒が好きで労働者とよく議論をしたという。一つ一つの具体的な事例から学んで組織化しようとする幹部であった。結成当時の「丸八倉庫の闘争」は私の誇りでもある。合

### ひととき

# 下塩原第一トンネル 工事現場で建交労 が安全衛生教育

【東京労災職業病部会準  
備会遠藤晃彦】七月六日、  
栃木県の下塩原第一トン  
ネル工事現場へ現地調査  
と労働安全衛生教育を兼  
ねて建交労から6名が参  
加しました。トンネルは  
全長1464m、既に9  
00m近くまで掘り進ん  
でいました。坑内は湧き  
水が大変多く、まさに泥  
濘の中の作業。

私は建交労で所有して  
いる騒音測定器で各作業  
の騒音を計りました。一  
番大きな騒音は発破時で、  
126dB(デシベル)  
を記録、続いて大きな騒  
音だったのが削岩時で1  
08dBを記録、ダンプ  
やその他の重機が通過す  
る際は90dB、またダ  
ンプ等から発するクラク  
ションも90dBを記録、  
これは坑外作業中のダン  
プも同様でした。  
騒音職場は85dB以  
上が目安となっております



粉じん測定は切羽から  
50mで0.3g/mを  
計測し基準内でした。施  
工者である奥村組・那須  
土木・松本工務店JVの皆  
さんの好意で、切羽近く  
まで行って見学する事も  
できました。  
作業終了後の40分間、  
映されじん肺根  
絶に奮闘する建  
交労の紹介も行  
いました。労働  
組合がトンネル  
現場にて安全教  
育を行う、画期  
的で素晴らしい  
事だと思えます。  
今後も継続して  
続けていくべき  
大切な活動だと  
感じました。

## 泥の中をダンプカー が走り回る トンネル内の工事現場

【東部江東一般 三野直  
恵】当日は空路徳島空港  
まで飛び、橋を渡って淡  
路入り。が、なんとエン  
ジントラブルのため、羽  
田で一時間以上定止めに！  
一回無事通り着けるのが  
ハラハラしましたが、な  
んとか到着。  
朝日新聞記者の伊藤千  
尋さんの憲法に関する講  
演、佐藤中央本部委員長

(淡路フェスタ感想文の  
続きです)  
「戦後」から見えて  
くる「いま」と題され  
たお話、若い組合員にも  
非常にやさしく理解でき  
たと思います。  
こうした講演等の中、  
「国鉄闘争」と「じん肺  
根絶闘争」の記録の上映  
で、当事者の方々にとっ  
てこのたたいがどんな  
に辛い長いものだったか  
と、初めて詳しく知りま  
した。  
さて、この様に有意義  
なプログラムの中、個人  
的には全国のみなさんと  
交流を持てたのが実は一  
番有意義でした。運動会  
では地域を越えたチーム  
で力をあわせ、夕食は隣  
りの席の方と楽しくお国  
自慢。  
うずしおの流れや百年  
以上も受け継がれた人形  
浄瑠璃も見せていただき  
「明日から頑張ろう」と  
元気をもらいつつ帰路に  
疲れ様でした。

## 門川副委員長の葬 儀における松田委 員長の弔辞 七月九日死去

一九七三年、二〇代の若き  
門川久雄さんは、当時の全日  
自労丸八倉庫班の組合員とな  
りました。今から三五年以上  
前のことです。  
その熱意と類まれなる行動  
力は、認められ、七九年には  
丸八倉庫班の書記長として、  
また深川民間分会の委員長と  
して、東部支部の副委員長と  
して、職場に閉じこもること  
なく、働くものの立場に立っ  
て、活躍なさいました。  
わたしがはじめてお目にか  
かったのもそのころで、「正  
しいことを言っても、会社が  
応じてくれない」と思い悩む  
わたしに、「正しいかどうか  
気に病むことはない。要求が  
切実なら必ず実現するから」  
と励ましてくださいました。  
運動を要求との関係で考え  
るスタンスは、二五年経って  
もわたしの中に連綿と続いて  
います。  
九〇年台には、労働戦線の  
右翼的再編に反対し、江東地  
域のローカルセンターの確立  
のために尽力されました。  
また、今日に至るまで、労働  
相談を一手に引き受け、一貫  
して働く者の守り手としての  
人生を貫き通しました。  
晩年には、誰にもまねので  
きない東部江東一般の組織化  
に乗り出し、建交労東京都本  
部の辛口副委員長、こわもて  
副委員長として、わたしたち  
を支えてくれました。  
六四歳。  
あまりにも早く、お別れを言  
わなくてはならない。  
わたしの胸は、千切れてしま  
いそうです。  
門川さん。

【南部支部淡谷分会 漆  
原進】建交労は三つの労  
働組合が集まり結成され  
一〇年が経ちました。労  
組のいつも掲げるスロー  
ガンは「働く人々の確  
立・失業と貧困・戦争を  
なくせ」と働く者の切実  
な要求で最先端の運動体  
です。そして二大闘争と  
して、じん肺をなくせ国  
の安全基準と生活保障の  
確立を、国鉄闘争104  
7名の採用差別撤回の闘  
いを続けております。  
フェスタの一日目は9・  
11を体験した伊藤千尋  
さん(ジャーナリスト・  
朝日新聞社)の講演をき  
きました。話は日本国憲  
法を使って生活と平和を  
守ること憲法の中身を詳  
しく知ること、海外にも  
戦争放棄の実践をしてい  
る南米のコスタリカとい  
う小さな国が武力を持た  
ず軍事費を教育に廻すこ  
と。「兵士の数ほど教師  
を」とそしてだれもが平  
和憲法を誇りに思ってい  
るとのことが話されまし  
た。日本もこの道をめざ  
すことの大切さを実感し  
ました。  
二日目は淡路島にある  
大きな体育館で運動会を  
しました。初めにひさし  
ぶりのラジオ体操で体の  
硬くなっていることを実  
感した。せつかくだから  
一種目くらい参加しよう  
と思い一列になった頭上  
のポールを送る種目に参  
加しましたが、我が黄色  
組は後半にはいったよう  
でした。  
その他各種目みんな童  
心に帰り盛り上がり天気  
もよく空気もさわやかで  
リフレッシュしました。  
三日目は佐藤綾一建交  
労委員長の講演を聴きま  
した。「戦後」から見え  
てくる「いま」「9条」  
と失業を中心に考える  
と題して、日本は明治か  
ら昭和の初めまで戦争を  
続けてきた。特に第二次  
世界大戦では多くの国民  
を戦死させ、餓死させ敗  
戦後その反省に立つて憲  
法9条を持ち軍備を持た

### 組合掲示板

- 7月30日 反核トラックキャラバン出発
- 8月1日 第7回都本部執行委員会
- 8月4日 東京労働局交渉
- 4日~9日 原水爆禁止世界大会
- 8月5日 最賃引き上げ宣伝座込み
- 8月11日 東京事業団高齢者部会
- 8月18日 衆議院選挙公示
- 8月21日 教育研修全国交流集会
- 8月29日~31日 建交労全国大会
- 8月30日 衆議院選挙投票日
- 8月31日 全国建設現場・全国事業団  
高齢者部会定期総会・
- 8月31日~9月1日 全国トラック部会
- 9月6日 東京都本部定期大会
- 9月6日~7日 都本部第1回執行委員会

### 都議選の結果について

要求実現の都議会議員選挙を闘った組合員の皆さん、また支援をいただいた全国のなかまの皆さんに心から感謝いたします。「自民か民主か」のあらしのようなキャンペーンのもと、民主党が第一党に、自民党・公明党は過半数を割り、唯一野党として活動してきた日本共産党は13議席を8議席に減らしました。都議会議員選挙の翌日、麻生首相は7月21日衆議院解散を決定し、総選挙は8月18日公示、30日が投票日に決まりました。今度は全国で「暑い夏」をたたかいぬきましょう。  
2009年7月15日  
建交労東京都本部執行委員長 松田 隆浩

「戦後」から見えてくる「いま」と題されたお話、若い組合員にも非常にやさしく理解できたと思います。こうした講演等の中、「国鉄闘争」と「じん肺根絶闘争」の記録の上映で、当事者の方々にとってこのたたいがどんなに辛い長いものだったかと、初めて詳しく知りました。さて、この様に有意義なプログラムの中、個人的には全国のみなさんと交流を持てたのが実は一番有意義でした。運動会では地域を越えたチームで力をあわせ、夕食は隣の席の方と楽しくお国自慢。うずしおの流れや百年以上も受け継がれた人形浄瑠璃も見せていただき「明日から頑張ろう」と元気をもらいつつ帰路に疲れ様でした。

